

青森県における神経芽細胞腫の マススクリーニング実施計画

秋 山 有， 荻 野 幸 男
(青 森 県 衛 生 研 究 所)

昨年7月、研究班に参加して以来、われわれは、青森県においていかにして乳児期神経芽細胞腫のマススクリーニング(以下NBスクリーニングと略)を実施するかの検討を始めた。NBスクリーニング開始の時期を、一応60年4月とし、現在まで行った検討内容、及び、今後の予定については以下に記すとおりである。

現在までの経過

- (1) 母子愛育会主催の研修会の検査技術者コースに、荻野幸男が参加受講(58年8月22日～8月27日)
- (2) 県内11保健所の薬剤師、臨床検査技師等に対して、NBスクリーニングの概略についての講習会を開催(58年11月4日～5日)
- (3) 弘前大学医学部小児科、武部助教授とNBスクリーニングの実施についての協議を行う。
- (4) 県内の一部の保健所とNBスクリーニングについての話し合いを行う。
- (5) 検査法(ディップ法、標準法)について、今後NBスクリーニング担当予定の衛生研究所微生物課先天性代謝異常検査室において検討を開始。

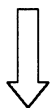
今 後 の 予 定

- (1) 行政主管課(環境保健部公衆衛生課)と、予算その他について協議
- (2) 全保健所への協力依頼
- (3) 弘前大学並びに県小児保健協会(会長、泉幸雄弘前大学名誉教授)と協議
- (4) 市町村における乳児検診状況の調査
- (5) 試験法の検討
- (6) 県内に一部モデル地区設定のうえ、NBスクリーニングの実施



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



昨年 7 月,研究班に参加して以来,われわれは,青森県においていかにして乳児期神経芽細胞腫のマススクリーニング(以下 NB スクリーニングと略)を実施するかの検討を始めた。NB スクリーニング開始の時期を,一応 60 年 4 月とし,現在まで行った検討内容,及び,今後の予定については以下に記すとおりである。